

東京専従通信

全日本教職員連盟
事務局次長 村松 宏晃



「新しい手段や方法を
まずは活用してみよう！」

香教連会員の皆様こんにちは。全日連事務局次長の村松です。こちら東京の全日連教連事務局は、六月十三日に第三十八回定期大会を終え、ほっと一息といった状況です。昨年は新型コロナウイルスへの対応で書面決議となりましたが、今年Web会議形式で無事に開催することができました。

緊急事態宣言下では、文部科学省をはじめとする各省への要望もWeb会議システムを利用して行ったこともあり、科学技術の進歩と上手にそれを組み込んでいく社会の変化を実感しているところでは、香川県の学校でもリモート参観を実施しているところがあるという中で、本当に使い易い方法で様々な可能性が広がります。



また、離れた場所同士を繋ぐ手段としては、テレビ電話もありがたい存在です。私もよく香川の家とスマートフォンでテレビ電話機能を使って話をしますが、話しているうちに不思議と遠くにいるような気がしなくなりました。やはり、画面越しでもその人の表情を見れば、言いたいこと、思っていることが自然と伝わってくるものです。

本日は色々な人と直接会って話をしたいというのが正直なところですが、孤独・孤立の問題も話題に上がる昨今、ICTが人と人との心を繋ぐ手段として、これからますます活躍の場を広げてくれることを期待しています。



「令和の日本型学校教育」の構築と「教職員の働き方改革」のさらなる推進に向けて



六月四日(金) 十五時より香川県庁北館三階三〇三号会議室において、香川県教育委員会と総括交渉を行った。香教連からは、北村顕吾委員長、大西祐子副委員長、高木俊彦事務局次長、黒川幸宣事務局次長、相原順之介人対部長の五名が出席した。重点項目として、

○二〇二六年度までに、小学校全学年の一学級三十五人以下学級が確実に、教科担任制が円滑に実施されるよう、計画的な教員配置・拡充を行うこと。

○小学校高学年においてより充実した教育活動を行うために、教科担任制が円滑に実施されるよう、計画的な教員配置・拡充を行うこと。

○GIGAスクール構想の本格実施にあたり、円滑かつ有効的に活用することができるよう、GIGAスクールサポーターの配置を推進すること。

○国家公務員法等の改正に伴い、定年延長制度を導入する際には、教員の勤務の特殊性を鑑み、管理職への「役職定年制(仮称)」を適応しないこと。

○配慮の必要な児童生徒への個に応じた指導の充実に向け、通級指導教室の増設および中学校へのさらなる拡充を図るとともに、通級指導担当教員の増配置を推進すること。

○学校事務の負担を軽減し、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保するため、ICTによる業務の効率化を図るとともに、指導要録の電子化等を含め、県下で共通化された業務に取り組むことができるよう、市町教育委員会と連携して早急に環境整備を図ること。

○教職員の超過勤務の縮減に向けて、「教職員の働き方改革プラン」に示されている学校運営改革と意識改革が早急に実現するために、各学校で具体的な業務改善、意識改革が図られるよう、市町教育委員会や所属長に積極的に働きかけること。

等を要望した。



原田智義務教育課課長様、敷木泰伸総務課課長様、北村宏美特別支援教育課課長様からは、各重点項目について昨年度までの状況や今年度以降の方向性等、具体的に回答をいただくことができた。

終わりに工代祐司教育長様より、「まだまだ新型コロナウイルス感染症まん延の影響で、学校現場において先生方が大変御苦労されていることに関心があります。この課題を解決していくためには、まず管理職(所属長)や各教育関係機関の責任者等の意識改革が早急に必要である。校長会等で働きかけている方がまだまだであると感じる。従来、学校教育の在り方等に捉われず、時代に即した学校経営等を当事者として理解し、変化を恐れず実践し、教職員が実感することができるようになっていただきたいと思います。今後、先生方が現場で大変御苦労されている今日、現場の声をしっかりと聴かせていただき、よりよい教育環境づくりを推進していききたい。」とお言葉をいただいた。

香川県人事委員会へ要望



六月十一日(金) 十三時四十分より、香川県人事委員会へ要望に参った。香教連からは、北村顕吾委員長と高木俊彦事務局次長の二名が出席した。

昨年度から続いている新型コロナウイルス感染症まん延の状況や教職員の勤務実態調査から、教職員の多忙な現状を伝えるとともに、「教職員の働き方改革プラン」の内容が確実に実現されるよう、勤務条件の整備や教職員給与・諸手当の改善等について要望した。また、改正国家公務員法の成立による定年延長に関する内容や定数改善による教職員の増員、新規採用における人材の確保等についても、関係諸機関に働きかけていただくとともに、県独自においても改善をお願いした。

香川県人事委員会委員長・関谷利裕様、香川県人事委員会委員・平尾敏彦様、香川県人事委員会委員・高濱和則様も現状を理解して下さっており、しっかりと改善に取り組んでいきたいとの回答をいただいた。